

農協の組織強化と農業近代化に

『七つの農協』合併を議決

来春には「八郷町農業協同組合」が誕生

町内八つの農協の合併を目ざし、合併準備委員会が調印した。しかし、その後各農協ごとに臨時総会を開いた結果、小桜農協だけが合併しないことになり、柿岡など七つの農協は、県下の「八郷町農業協同組合」として、来春二月誕生することになった。

合併までのあまし

昭和三十六年、関係者の間から農業の体質改善と近代化には農協も合併すべきであるという気運が高まってきたので、町と農協及び関係者で話し合いを進め、昭和三十七年二月、町長は、農業委員会に対し農協合併の可否を諮問したところ、農業委員会より農協は住民の福利増進をはかるため、早く合併すべきであるという答申があったので、町では、関係者の会議を開き、いろいろと検討した結果、同年六月農協合併促進協議会をつくった。また、農協



町の大きな施策の一つとして推進してきた、農協の合併も、さる十一月二十四日各組代表者により「八郷町農業協同組合」としての合併準備契約書に調印した。

発足することになった。

合併事務局職員を委嘱して本格的な促進運動を進める一方、合併の基本方針案をつくり、農協合併促進委員会において検討し、一部修正して決定した。

昭和三十八年三月、農業委員会代表者及び農協組合長による会議を開き、各農協の総会の時にPRする資料などの検討を行ない、パンフレットを総会において配布し、説明をした。

また、農協においては、七月から九月にかけて組合員の意見を聞くために部落座談会を開いた。その結果、各農協とも基本的には賛成することになった。

この間、事務局においては合併後の構想を明らかにするための合併経営計画概要書の案をつくり、本年三月常任委員会を開き、概要書の承認をいるとともに、各組合の財務内容を確認し、合併の基準日を本年七月三十一日と決定した。

今年の八月から九月にかけて県に依頼し、各農協の財務内容を調査するとともに

常任委員会及び促進協議会を開き、財務内容、準備契約書案、などについて協議検討した。

十月初旬から十一月初旬まで部落座談会を開き、十一月中旬各農協役員会を開き、座談会の結果をまとめ、さる十一月二十四日各組合の代表者によって満場一致、合併準備契約書の調印が行なわれた。つづいて、十二月十五日までに各組合において合併総会を開き、①合併の決議、②合併経営計画書の承認、③設立委員の選出などを行ない、小桜農協をのぞいた七つの農協が合併することに決定した。

この七つの農協では来年一月中旬までに設立委員会を数回開き、新しい役員を選任と役員会の開催、一月末には解散と合併登記を行ない二月一日から七つの農協を合せた「八郷町農業協同組合」が発足することになった。

火災シーズンを迎え 防火施設を点検



写真は防火宣伝に勢ぞろいした消防車

秋季火災予防週間の11月3日、町消防団では防火思想のPRをするともに、各地区団もいっせいに防火施設の点検を行なった。

とくに重点的なこととして、本部分団では貯水槽の水量の点検、危険物取扱所の立入検査を実施した。また各地区団では、消防ポンプやホースの点検と放水試験を行ない、各家庭ごとにカマドやガスボンベの点検を実施した。

一方、広報車は町内を巡回して防火宣伝を行なった。

消防団では、防火のためにたゆまぬ努力を続けておりますが火災を未然に防止するため皆さん一人一人の注意をのぞんでいきます。

自分の家が 火事になったら?

その前に火の用心

昔から「火の用心」という言葉が繰り返されてきた。火事は恐ろしい。「火事になったら大変だ」ということは誰れでも知っています。しかし火事はめったに起らないからうっかりこのくらのことでは大丈夫だ。自分の家が火事になるなんて? と思いがちです。

私たちは、もっとも火災予防ということ身を近かな問題として、生活の中に習慣づけなければなりません。

そこで、家庭での一家団らんひとときなど、家の中の火の取り扱いや、火事になったらどうしようか? などと話し合うことが大切です。

そして、いっそう火の元に注意し、お互に火を大切に、恐ろしい火災から大切な生命や財産を守りましょう。

恵まれない人たちに 明るい歳末を

ことしも、歳末たすけあい運動が行なわれていきます。だれもが描って、明るい正月を迎えることができれば、いっそう「社会福祉協議会」と「社会を明るくする運動実施委員会」が中心となって十二月二十五日まで運動をつづけます。

アック 危ない

○運転者も、歩行者も、歳末のあわただしさに追われて、気持ちのゆとりを失っています。○とくに事故の多い、道路の横断には、十分気をつけましょう。

柿岡区 簡易水道工事 配水塔から開始



柿岡地区四五〇世帯への給水をめざし、水道工事に着手した。工事は給水の中心となる配水塔と配水室、減菌室の基礎工事に入った。また、深井戸のボーリングも開始するとともに、主要幹線(写真は配水塔の基礎工事)

北部統合中 小高台が候補地に

中学校の統合同様に南部中部が決まり、北部の統合が残り、十一月六日北部地区中学校統合促進協議会から敷地として小高台、富士(瓦会)と恋瀬の中間で県道の南側の答申があった。

北部地区中学校統合(恋瀬中、瓦会中、園部中)については、昭和三十六年から北部地区中学校統合促進協議会をつくり、世論の調整と統合の促進に努力してきました。

しかし、三つの中学校の統合について、いろいろと検討したところ、通学距離などの問題があるので、園部中は将

軍人、軍属の 年金支給 一部かわる

遺族に一時金として 十万円を支給する

(1)公務傷病で死亡したこと証明することが困難な軍人軍属の遺族に支給する(昭和十二年七月七日以後)

(2)公務傷病であって、傷病を併発して退職後二年以内に死亡した軍人、軍属

年金支給の改正

(1)大東亜戦争中に戦地で勤務し、故意または重過失以外の理由により負傷し、障害を受けた軍人、軍属に障害年金を支給する

(2)同じく、これにより死亡した軍人、軍属の遺族に遺族年金を支給する

(1)昭和二十一年二月一日以後昭和二十七年四月二十九日以前に離婚した妻(その後他の者と内縁関係にある者

遺族年金を支給する 遺族の範囲の拡大

(1)昭和二十一年二月一日以後昭和二十七年四月二十九日以前に離婚した妻(その後他の者と内縁関係にある者

戦地勤務の加算 南西諸島における

(1)昭和十九年十月から昭和二十年九月までの間、南西諸島にあって、戦務についた軍人、軍属の勤務期間は一月につき二ヵ月(昭和二十年四月から六月までの沖縄における勤務期間は一月につき三ヵ月)とする

特別弔慰金の適用期間の拡大

ことしも、歳末たすけあい運動が行なわれていきます。だれもが描って、明るい正月を迎えることができれば、いっそう「社会福祉協議会」と「社会を明るくする運動実施委員会」が中心となって十二月二十五日まで運動をつづけます。

みなさんの小さな心づかいが、恵まれない人たちへの大きな愛の手となってほしいものです。

かぜは万病のもと かからないようまず予防

朝夕めつき
り寒くなりま
した。こがら
しの吹く冬の
季節は、「か
ぜ」ひきがた
いへん多くな
ります。
厚生省がま
とめた国民健
康調査による
と、全国民一
人あたり年間
〇・八回「か
ぜ」にかかり
その病日数は
五・二日、
この治療費は
全国で年間二
〇〇億円以上と推定されてい
ます。

「かぜぐらい」が禁物
むかしから「かぜは、万病
のもと」といわれています。
「かぜ」の多くは、種々の細
菌やウイルスによっておきる
のですが、はじめは気道粘膜
の炎症ぐらいであるため、た
かが「かぜ」ぐらいと油断し
すっかりこじらせて、重い肺
炎などを併発して死ぬ人が少
なくありません。

インフルエンザにかかるこ
とさむけと頭痛にはじまり、四
〇度近い高熱が一三日続き
せきやのどの痛みがあり、腰
や関節が痛んだり、はき気な
どがあったり、はいたりして

身体に抵抗力を

しかし、予防接種だけで絶
対安心してよいというわけに
はいきません。まず、学校で
も家庭でも外出後や食前には
よくうがいをしましょう。ほ
うさん水や食塩水でなくとも
番茶や白湯などの奥まで数
回がうがうことがたいせつ
で、この励行だけでも、感冒
は三分の一以上予防できると
いわれています。

風の強い屋外や人ごみの中
では、せきが出る人はもちろ
ん、出ない人もマスクを使用

未然に防ぐ予防注射

「かぜ」を予防するため
は、休養、栄養などの一般的
な節制をはじめ、個人衛生の
注意がたいせつなことはもち
ろんですが、インフルエンザ
のように社会性の大きいもの
は、社会全体の防衛の意味か
ら、予防接種を行なうことが
重要なことです。

町では、流行を未然に食い
止めるために、国の防疫方針
にそって、今年も十一月中に
希望者にたいして、予防接種
を実施しました。

このたびの県外研修は、
すぐれた農家ばかりでした
が、そのうちでも、とくに
酪農の岡田純一さん（栃木
県芳賀町）の経営を興味深
く見学させて頂きました。

岡田さんは宇都宮大卒業
後、農林省をへてアメリカ
留学（養豚の勉強）帰国後
昭和三十三年より酪農を始
め、現在は水田四・五ヘク
タール、畑二ヘクタール
の耕地と乳牛四三頭を飼育
しています。

栃木といわれると山また
山の斜面地を思い浮かべま
すが、岡田さんの家の回り
もけって平でなく、大
小の山がたぐさある高い
所です。しかし、この土地
をうまく生かした経営をし
ているのです。

まず牛舎と飼料畑の位置
です。牛舎が中心となり、
その回りにサイロ、育成運
動場があって、大きな機械
を動かすことができます。

先進地酪農に学ぶ

戸ノ内 中野 広子

それから岡田さんの話しか
ら、ぜひ学ぼうと思った点
をあげてみます。

①お金の使い道を有利にする
ため、夫人を簿記学校に
送った。

②多角経営は、お金より人間
の体負担がくる。

③尿を利用して土地と労働の
生産性をあげる。

④赤字経営のうちは、設備な
どに資金を使わず、飼料と
か、牛などの直接収入を
図り、早く黒字経営にもつ
ていく。

⑤経費の節減を図り、飼料な
どは自給飼料を主とする
⑥牛はなるべく放し飼いにし
て、丈夫に育てる。

⑦これからは先進地の酪農
経営を見習い、見聞を広め
ること、そして立派な青写真
をつくりあげる

だいたい以上のようなこ
とですが、まだまだたくさん
の学ばなければならぬ点
がありました。

ただし、私の考えでは、
これからの酪農はある程度
大規模でないと生活がむず
かしいといわれています。
で、私の家も今が苦勞のと
き、小規模でも自分に合っ
た酪農で、多頭飼育ができ
るようになりたいと考えてい
ます。

このような立派な岡田さ
んの酪農を研修させて頂き
一番印象に残ったことは、
酪農というものの夢と希
望を大きく持つことができ
たことです。

今後、早く自分のものに
して力いっぱい努めてみた
いと思います。

第一回乳牛共進会

谷仲（太田）さん優等賞

町ではじめて
の乳牛（育成牛）
共進会が、十一
月三十日午前八
時から整地され
た柿岡中の敷地
で開かれ、各地
区から優秀な乳
牛が二四頭参加
した。

当日は、県畜産試験場大島
技師をはじめ六人の審査員に
よって慎重に審査したところ

個人の部	
優等賞	谷仲敏也（志願）
一等賞	鎌田政義（柿岡）
二等賞	萩原久芳（小杉）
三等賞	飯田 豊（林）
四等賞	来栖義雄（志願）
五等賞	稲田 一郎（瓦会）
六等賞	舟橋順（柿岡）
七等賞	か一七名
団体の部	
一等賞	志願支部
二等賞	柿岡
三等賞	瓦会

青年学園生徒が 栃木県の先進地を視察

青年学園生
五〇名は、さ
る十一月十三
日の二日、二
日間、わたり、
栃木県内のす
ぐれたモデル
農家三カ所を
視察した。

この研修は
明日の農村を
築く若い学園
生たちが、県
外先進地にお
ける農業経営
のありかたを研修し、近代化
に対する認識を深めて、こん
ごの経営合理化の推進に役立
ててもらう目的から行なわれ
た。

視察した益子町養鶏センタ
ー（共業）、芳賀町岡田純一
氏（酪農）、宇都宮市金井良
弘氏外一名（共業）は、それ
ぞれ特色ある経営により、近
代的な経営合理化を進めてい
る優秀な農家です。

このような立派な農業経営
を実地に研修した学園生たち

瓦会地区で 豚の共進会

は、農業への希望に胸をふく
ましました。この視察を通して、
この視察を生かして、こんご
の農業に十分役立ててもらいた
いものです。

瓦会地区で
十一月二十七日、瓦会
地区では農政連が主催となり
農協が後援して豚の共進会を
開いた。

現在、豚の飼育熱は非常に
さかんでいます。飼養頭数は
ふえています。そこで農政連
では、豚の飼養意欲の向上と
技術の改良をめざして共進会
を開いたのです。審査員に
は改良普及所吉藤技師をはじめ
め、町と農協の畜産担当員が
なり、一四頭の出品豚につい
て慎重に審査したところ次の
方々が入賞した。

一等賞 谷島貞次（瓦谷）
二等賞 永瀬貞一（宇治谷）
三等賞 真家茂男（部原）

「家畜共済」 病気の治療費も支給

みなさんの大切な家畜
が家畜共済にもれていま
せんか。家畜共済制度は
一般保険と同じように、
不慮の事故（死亡、雇用
病、傷害など）によっ
て受ける農家の損失を補
償することになっていま
す。

また家畜共済に入っ
てると町民税や所得税に
対する特別基礎控除が行
なわれますが、加入して
ない家畜については基礎
控除をしないことになっ
ています。

次に、病気やケガをして
獣医師にかかったときは
すでに配布されている家
畜受診証を獣医師に提出
し、治療費の請求ができ
ます。

この治療費は加入家畜の
共済金額によって一回の
治療費に対し限度がきめ
られています。

家畜の所有者は共済への
加入が義務づけられてい
るので、まだ加入してい
ない人は、ただいま短期共
済引受け期間中ですから
一頭もれなく加入するよ
うおすすめていきます。

心配ごと 相談

一月 十三日
二十日 二十七日
午後三時まで
八郷公民館
気軽について
おいでください



電気器具を考えて
電気を通りみち、すなわち
電気の配線が電気事故を防ぐ
うえにも、電気を明るく、楽
しく、合理的に使用するうえ
にも、とても大切なことです
がこの大切な配線を、家外
とまかせにする場合が多いの
です。

スイッチやコンセントをと
りつける時は、あらかじめ、
夏や冬の季節的に使用する電
気器具や、家中のみんなが使
いやすいようにすることで
す。

応接間、居間、勝手場など
各部屋で使う電気器具の種
類や、電気の大きさを考えて、
スイッチ、コンセントの数や
位置をきめてから、電気屋
さんに依頼するようにしまし
う。

電気を無理なく、無駄なく
便利に使うことが「コツ」
です。合理的な配線は、明る
い、豊かな家庭のみならず、

百日咳 予防注射
ジフテリア
一月中旬を予定
（該当者は三十八年十月一
日から三十九年七月三十一
日まで生れたもの）
この予防接種は、みなさん
の可愛い赤ちゃんを、百日
咳やジフテリアなどからまも
るため、身体に抵抗力をつけ
る大切なものです。
二回すんだらもういいだろ
うではないけません。あと一回
ですから、忘れずに受けまし
う。

第11回 成人式典

▷と き 昭和40年1月15日
(午前8時～午後5時)

▷ところ 鹿島郡 鹿島 神宮

▷該当者 昭和19年1月16日～昭和20年1月15
日までに生れた人(住民登録者)

▷視察地 鹿島神宮、鹿島港建設地一帯、香取
神社、その他

▷服 装 視察場所などが多いため、簡素な服
装で参加してください

▷その他 当日はバスを使用しますが、各地区
ごとの集合場所、時間など、くわし
いことは本人あて通知します
また、通知もれの方などがありまし
たら直接教育委員会まで連絡がいき
ます

今月の納税

固定資産税 第3期
有線放送使用料

今月は25日までに
ねがいいます

婦人の合同研究会で『選挙の公明化』を話し合う



熱心に意見の交換 一青年研修所で一

婦人学級、婦人会指導者合同研究会が十二月十五日青年研修所で開かれたが、この研究会の第三部会で「選挙の公明化」についての話し合いがあり、司会者、助言者を囲んで、「暗い選挙」の追放へ活発な意見の交換を行なった。

級生、婦人会指導者を対象にし「地域の共通課題を研究討議し、解明をはかり、もって各人の理解を深める」とことを目的に開いたものです。

青年研修所での研究会には、県や町の社会教育関係者を指導助言者に招いて、午前九時から午後四時まで、熱心に話し合いを行なった。

この日の研究課題は「家庭の人間関係」など三つでしたが、とくに公明選挙推進協議会から提出された「選挙の公明化について」、これからの公明選挙を強力にすすめることについて活発な意見の交換があった。なおこのあと老人福祉センター、板敷山大覚寺でも話し合いを行なった。

となつたらしい対面をしたのでさぞ喜んだことであろう。護国神社参拝のあと、笠間市を回り、豪華な「菊人形」

遺家族九〇〇人が

水戸護国神社を参拝

今年の慰霊祭は、十一月十六、十七の二日間にわたり、水戸護国神社の護国神社において遺家族九〇〇人が参加して厳かに式典が行なわれた。

これまで、慰霊祭は高友山殉国の碑前で行なってきたが、県下の英霊が静かに眠る護国神社を参拝したことがない人が多いとの遺族会の要望により参拝したものです。

遺家族はバスに分乗し、午前一時護国神社に到着。日の丸のもとに命をかけ、肉親をすてて命を国家にささげた英霊に対し、もくとうをささげ、めいふくを祈った。

この日は、遺家族も親兄弟の英霊



写真英霊にもくとうをささげる遺家族

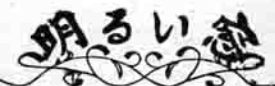
話し合いのまとめ

選挙の公明化とは

選挙の公明化とは、投票する人、投票するところ、投票するときに、自分自身で考えて立派な代表者に、選挙について一般にどのような考え方をしているか、多くの人は、金のかからない公明な選挙をしようという考えが、金のかかるもの、選挙は金がかかるものだ、あるいは「選挙のときは競走になるもの」という考え方がまだ残っていると思う。それらを打破するには、一般の人たちの選挙に対する理解を深めることが大切。選挙の公明化は、どうすればできるか、義理や人情にしばられないで自分の意志によって投票すること。となく日本人は自主性に欠ける。

ている人が多いので、人にまどわされずに自分の希望をはっきりする。「あの候補者からは金が出る」とか「品物がもらえる」とか、などとされた場合は「そんなことは違反ですからできません」とハッキリ言っ、さとしてあげることが選挙の公明化につながる道です。そして自分の考えで正しく進むことです。

さる十一月十三、十四日に開かれたバリンピックに出場した皆川さん銅メダルを獲得



バリンピックに出場した皆川さん銅メダルを獲得

天皇陛下に

柿を献上

本多さん今年で15年

毎年欠かさず宮内庁を通じて天皇・皇后陛下に「園部の柿」の献上を続ける、真家の本多文雄さんは、ことしで連続十五年になりました。

冷害の北海道へ

慰問品おくる

新聞やテレビで北海道の冷害があまりにもひどいことを知った生徒たちが、ホームルームの話し合いから決めたもので、クラス全員が慰問品を少しづつもちより冷害見舞として寄せられたもので、社会

十二指腸虫

寄生率県平均になる

寄生虫(十二指腸虫) 三十八年度において、十二指腸虫の検便を実施したところ、寄生率が四二%と県下で、非常に高いことがわかった。で、今年もつづけて検便を実施したところ、別表のような成績となり、寄生率は一七・三%にさがりました。

これは、県平均になつたわけですが、関東地区では寄生虫ゼロといわれるところもあり、県平均より寄生率を下げようとしています。皆さんの協力をねがいます。

最近、町で耕うん機について調査したところ、町内に約五〇〇台の申告もれのあることがわかりました。税法では、耕うん機の所有者が申告義務を負ったときには三万円以下の過料を科すことができます。ことしは、取得した十五日以内にナンバーの交付を受けてください。

また、耕うん機の所有者には農業所得の算出にあたり、耕うん機一台について必要経

39年度 十二指腸虫検査結果表

地区	対象者	実施者	提出率	保卵者	保卵率
柿岡	2,684	2,290	85.3	360	15.7
小幡	2,152	1,944	90.3	353	18.1
戸部	1,955	1,592	81.4	331	20.8
恋瀬	2,055	1,946	93.3	283	14.5
瓦部	1,638	1,380	84.2	284	20.5
園部	2,096	1,793	85.5	248	13.8
林部	1,804	1,714	95.0	275	16.0
小幡	1,986	1,849	93.1	283	20.7
合計	16,370	14,508	88.6	2,417	17.3

最近、町で耕うん機について調査したところ、町内に約五〇〇台の申告もれのあることがわかりました。税法では、耕うん機の所有者が申告義務を負ったときには三万円以下の過料を科すことができます。ことしは、取得した十五日以内にナンバーの交付を受けてください。

また、耕うん機の所有者には農業所得の算出にあたり、耕うん機一台について必要経

また、耕うん機の所有者には農業所得の算出にあたり、耕うん機一台について必要経

風か運んだ落葉を
故郷を忍ぶ朝